

## この時計の機種番号: E660

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。

### Web取扱説明書

QRコードより、この時計のWeb取扱説明書をご覧ください。

**[citizen.jp/support/guide/html/e660/e660.html](http://citizen.jp/support/guide/html/e660/e660.html)**




- 最新情報やお知らせなどはこちらをご覧ください。
- 外装機能(計算尺、タキメーターなど)の操作方法もご覧ください。外装機能の搭載は、モデルによって異なります。





## 安全にお使いいただくために—必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、**70～81**ページを必ずお読みください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>危険</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

# この時計の特長



## ■ 電波時計

世界4地域5局の送信所からの電波を受信して、正確な時刻・カレンダーに自動で修正します。



## ■ ワールドタイム

地域を設定するだけで、世界各地の時刻を簡単に表示できます。



## ■ エコ・ドライブ (Eco-Drive)

光で充電するため、定期的な電池交換がいりません。



## ■ アラーム

設定した時刻にアラームを鳴らします。



## ■ クロノグラフ

最大60分、1秒単位のクロノグラフ機能です。



## ■ パーペチュアルカレンダー

2100年2月28日まで月末やうるう年のカレンダー修正は不要です。

## もくじ

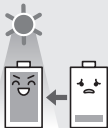
ご使用になる前に.....	8
バンド調整について.....	9
保護シールについて.....	9
特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた.....	10
各部の名称.....	12
モードを切り替える.....	14
充電量を確認する.....	16
前回の電波受信の結果を確認する.....	20
現在のワールドタイム設定を確認する.....	22
ワールドタイムを設定する.....	24

次のページに続く▶

電波を手動で受信する(強制受信) .....	29
サマータイムを設定する .....	32
クロノグラフを使う .....	38
アラームを使う .....	40
充電について .....	44
電波受信について .....	49
電波を受信するときは .....	50
標準電波について .....	51
受信が困難な場所 .....	55
時刻・カレンダーを手動で合わせる .....	56

困ったときは . . . . .	60
基準位置を確認・修正する . . . . .	60
時計の状態と対処方法 . . . . .	64
エコ・ドライブ取り扱い上の注意 . . . . .	70
防水性能について . . . . .	72
お取り扱いにあたって . . . . .	74
保証とアフターサービスについて . . . . .	82
製品仕様 . . . . .	84
お問い合わせ窓口 . . . . .	86

## ご使用になる前に



この時計は、文字板に光を当てて充電します。  
時計を快適にお使いいただくために、時計に光をこまめに当てて充電してください。  
充電については、**44** ページ以降をご覧ください。

開封後、時刻/カレンダー合わせを始める際には、必ず以下の手順で行なってください。

- 1 現在の充電量を確認する(16 ページ)
- 2 ワールドタイムの設定を行う(24 ページ)
- 3 電波を受信する(29 ページ)

## ■バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。

バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

## ■保護シールについて





時計のガラスや金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

## ■ 特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

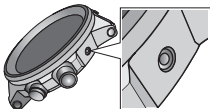
### ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロック りゅうず	 りゅうずが飛び出すまで、左に回す	 りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロック ボタン	 ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	 ねじを右に回し、しっかり締める

## 隠しボタン

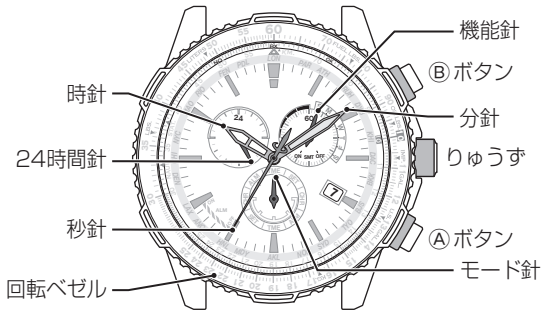
ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。



- 金属製のものですとボタンを傷つける恐れがありますので注意してください。

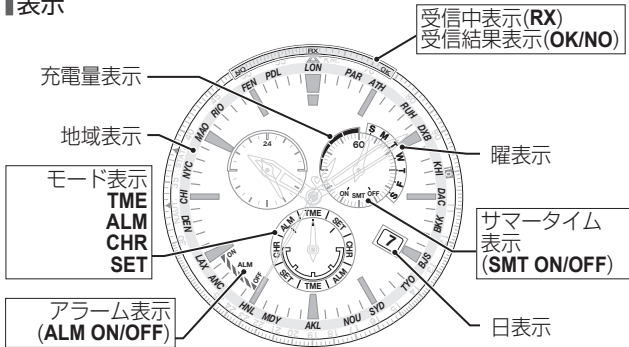
# 各部の名称

## 針とボタン



- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。

## 表示

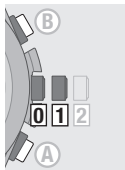


- ソーラーセルが文字板の下に配置されています。

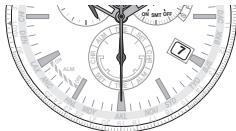
# モードを切り替える

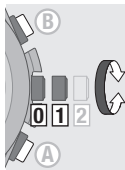
この時計には、次の4つのモードがあります。

<b>TME</b>	通常の時刻を表示します。
<b>CHR</b>	クロノグラフを使用するためのモードです。
<b>ALM</b>	アラームの設定を行うためのモードです。
<b>SET</b>	時刻/カレンダー合わせを手動で行うためのモードです。

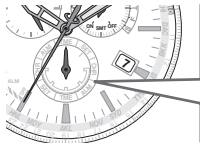


- 1 りゅうずの位置を1にする**  
秒針が30秒を指して停止します。





## 2 りゅうずを回して、モードを切り替える



モード表示



- モード針がモード表示の目盛を確実に指すように、りゅうずを回します。

## 3 りゅうずの位置を0にして、終了する

時計の各表示が、選んだモードの表示に切り替わります。

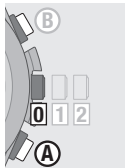
- 表示の切り替えに時間がかかる場合があります。

## 充電量を確認する

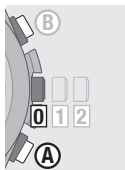
充電について詳しくは、「充電について」(44ページ)をお読みください。

### ■ 充電量を確認する

- 充電量表示の見かたについては、18 ページをご覧ください。



- 1 モードを[TME]にして(14 ページ)、  
りゅうずの位置を0にする
- 2 ①ボタンを押す  
機能針が充電量を表示し、秒針が前回の受信結果  
を表示します。







充電量表示



- もう一度①ボタンを押すと、通常表示に戻ります。ボタンを押さなくても、10秒間経過すると、自動で通常表示に戻ります。

▶ 充電量を確認する

## ■ 充電量のレベル表示

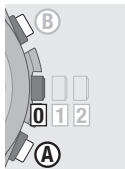
レベル	3	2	1	0
充電量表示				
およその持続時間	10~7ヵ月	7~1ヵ月	1ヵ月~3日	3日以下
表示の意味	十分充電されています。 安心してお使いいただけるレベルです。		やや充電量が不足しています。	充電警告が始まるレベルです。
	すぐに充電してください。			

**注意**

- 充電量レベルが「0」のときは、秒針が2秒ごとに動くようになります(充電警告機能、**46** ページ)。このとき、機能針は常に充電量を表示します。また、時刻表示以外の機能は停止し、操作できなくなります。

## 前回の電波受信の結果を確認する

電波受信について詳しくは、「電波受信について」(49ページ)をお読みください。



1 モードを[TME]にして(14 ページ)、  
りゅうずの位置を0にする

2 ①ボタンを押す

機能針が充電量を表示し、秒針が前回の受信結果  
を表示します。

OK

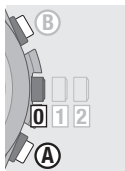


電波受信に成功しました。

NO



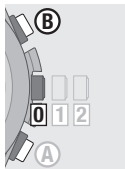
電波受信に失敗しました。



- もう一度①ボタンを押すと、通常表示に戻ります。ボタンを押さなくても、10秒間経過すると、自動で通常表示に戻ります。

## 現在のワールドタイム設定を確認する

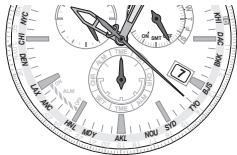
ワールドタイムについて詳しくは、「ワールドタイムを設定する」(24ページ)をお読みください。



1 モードを[TME]にして(14 ページ)、  
りゅうずの位置を0にする

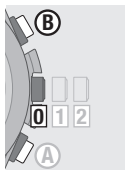
2 ②ボタンを押す

秒針が現在の地域設定を表示し、機能針がサマー  
タイム設定(32 ページ)を表示します。



例：  
地域設定が「TYO」で、サ  
マータイム設定が「SMT  
OFF」の場合

## 現在のワールドタイム設定を確認する

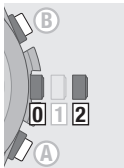


- もう一度Ⓑ ボタンを押すと、通常表示に戻ります。ボタンを押さなくても、10秒間経過すると、自動で通常表示に戻ります。

# ワールドタイムを設定する

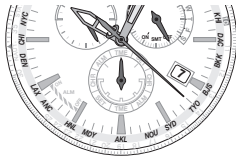
この時計は、UTC(協定世界時)を基準とした24の時差を設定することで、世界の各地域の時刻を表示させることができます。

- 表示中の時刻が、どの地域の時刻なのかを確認するときは、**22**ページをご覧ください。

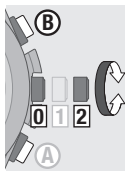


## 1 モードを[TME]にして(14 ページ)、 りゅうずの位置を[2]にする

秒針が現在の地域設定を表示し、機能針がサマータイム設定(32 ページ)を表示します。



例：  
地域設定が「**TYO**」で、サマータイム設定が「**SMT OFF**」の場合



## 2 りゅうずを回して、地域を選ぶ

地域を選ぶと、時針/分針が動き始めます。

- 地域と時差について詳しくは、「時差と代表地域について」(26ページ)をご覧ください。
- 針の動きが止まっているときに、B ボタンを押すとサマータイム設定が、切り替わります。

## 3 りゅうずの位置を0にして、終了する

▶ ワールドタイムを設定する

時差と代表地域について

- ・ 時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。
- ・ 一覧表にない地域で時計を使用する場合は、同じ時差の地域を設定してください。

時差	秒針	表記	代表地域	受信局
0	0秒	LON	ロンドン*	ドイツ局
+1	3秒	PAR	パリ*	
+2	5秒	ATH	アテネ*	◆ドイツ局
+3	8秒	RUH	リヤド	
+4	10秒	DXB	ドバイ	
+5	13秒	KHI	カラチ	◆中国局
+6	15秒	DAC	ダッカ	
+7	17秒	BKK	バンコク	

時差	秒針	表記	代表地域	受信局
+8	20秒	<b>BJS</b>	北京/香港	中国局
+9	22秒	<b>TYO</b>	東京	日本局
+10	25秒	<b>SYD</b>	シドニー	◆日本局
+11	27秒	<b>NOU</b>	ヌーメア	
+12	30秒	<b>AKL</b>	オークランド	
-11	33秒	<b>MDY</b>	ミッドウェイ諸島	◆アメリカ局
-10	35秒	<b>HNL</b>	ホノルル	
-9	38秒	<b>ANC</b>	アンカレジ**	
-8	40秒	<b>LAX</b>	ロサンゼルス**	アメリカ局
-7	43秒	<b>DEN</b>	デンバー**	
-6	45秒	<b>CHI</b>	シカゴ**	
-5	47秒	<b>NYC</b>	ニューヨーク**	

▶ ワールドタイムを設定する

時差	秒針	表記	代表地域	受信局
-4	50秒	MAO	マナウス	◆アメリカ局
-3	52秒	RIO	リオデジャネイロ	
-2	55秒	FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島	◆ドイツ局
-1	57秒	PDL	アゾレス諸島*	

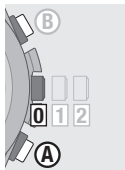
- 表中の時差は、各地域の標準時とUTCの時差です。
- 表中の「受信局」に◆マークがついている地域は、受信範囲外のため実際には受信できません。
- \*/\*\*の地域では、サマータイム設定の自動切り替えが、それぞれ連動しています。詳しくは、「サマータイムを設定する」(32ページ)をご覧ください。

## 電波を手動で受信する(強制受信)

電波受信について詳しくは、「電波受信について」(49ページ)をお読みください。

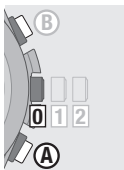
- 電波受信には、2～15分程度の時間がかかります。
- 電波受信の前に、あらかじめ「ワールドタイムを設定する」(24ページ)を行なってください。
- サマータイム実施地域では、事前に「サマータイムを設定する」(32ページ)を行っておくと便利です。

▶ 電波を手動で受信する(強制受信)



- 1 モードを[TME]にして(14 ページ)、  
りゅうずの位置を0にする
- 2 秒針が「RX」を指すまで、2秒間以上Aボタンを押し続ける  
秒針が前回の受信結果を表示した後、「RX」を指し、  
受信が始まります。





### 3 電波受信しやすい環境に時計を置く

- ・ 秒針が「RX」を指している間は、できるだけ時計を動かさないようにします。

受信が終わると、受信結果(OK/NO)が表示され、通常表示に戻ります。

#### 受信を中断したいときは

秒針が「RX」を指している間に、**Ⓐ** ボタンを2秒間以上押すと、受信が中断され、通常表示に戻ります。

## サマータイムを設定する

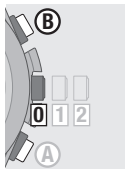
サマータイムとは、夏期の時刻を標準時刻よりも進め、日中の時間を有効活用するための制度で、欧米を中心に導入されています。

- サマータイムの実施地域では、電波信号にサマータイム信号が含まれます。
- サマータイムの実施期間は、国や地域によって異なります。
- サマータイム制度は、国や地域の事情により変更される場合があります。

### サマータイム設定について

- サマータイム設定は、地域設定ごとに行うことができます。
- この時計は、サマータイム信号を含む電波を受信すると、サマータイム/標準時刻の表示を自動で切り替えることができます。
- サマータイム設定は、手動で行うこともできます。

## ■ サマータイム設定を確認する



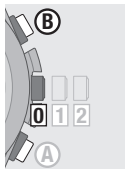
1 モードを[TME]にして(14 ページ)、  
りゅうずの位置を0にする



2 ②ボタンを押す

秒針が現在の地域設定を表示し、機能針がサマータイム設定を表示します。



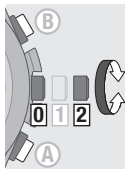
▶ サマータイムを設定する



SMT ON	SMT OFF
	
表示時刻は、サマータイムです。	表示時刻は、標準時刻です。

- もう一度②ボタンを押すと、通常表示に戻ります。ボタンを押さなくても、10秒間経過すると、自動で通常表示に戻ります。

## ■ サマータイム設定を変更する

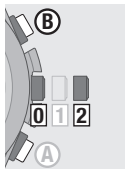


- 1 モードを[TME]にして(14 ページ)、  
りゅうずの位置を[2]にする

秒針が現在の地域設定を表示し、機能針がサマータイム設定を表示します。

- 2 りゅうずを回して、サマータイム設定を変更したい地域を選ぶ

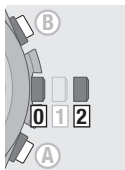
地域設定が切り替わり、時針/分針が動き始めます。また、地域設定ごとのサマータイム設定が表示されます。



### 3 針の動きが止まっているときに、**Ⓑ**ボタンを押す

<b>SMT ON</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• サマータイムが表示されます。</li><li>• サマータイム設定の自動切り替えがオンになります。サマータイム信号の受信に応じて、自動でサマータイム設定が切り替わります。</li></ul>
<b>SMT OFF</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 標準時刻が表示されます。</li><li>• サマータイム設定の自動切り替えがオフになります。電波を受信しても、サマータイムは表示されません。</li></ul>

- **Ⓑ**ボタンを押すごとに、選んでいる地域のサマータイム設定が切り替わります。



4 手順2、3をくり返し、他の地域のサマータイム設定を行う

5 りゅうずの位置を0にして、終了する

### サマータイム設定の連動について

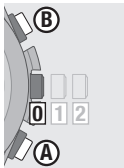
次の地域では、いずれかの地域でサマータイム信号を受信すると、それぞれの局でサマータイム設定の自動切り替えが連動します。

アメリカ局	ANC、LAX、DEN、CHI、NYC
ドイツ局	LON、PAR、ATH、PDL

- 自動切り替えをオフにしている地域については、連動しません。

## クロノグラフを使う

この時計のクロノグラフは、1秒単位で最大59分59秒まで表示することができます。



- 1 モードを[CHR]にして(14 ページ)、  
りゅうずの位置を0にする**  
0分0秒が表示されます。
- 2 計測する**
  - ・計測の方法は、次ページをご覧ください。
  - ・りゅうずの位置を変更すると、クロノグラフはリセットされます。
- 3 モードを[TME]にし、りゅうずの位置を0  
にして終了する**

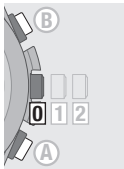


- スタートから、60分間経過するとクロノグラフはリセットされ、停止します。

# アラームを使う

この時計のアラームは、表示時刻に基づきます。ワールドタイムの地域設定を変更した場合は、変更先の地域の時刻に基づきます。

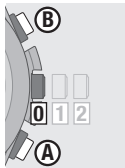
## ■アラームの設定を確認する



- 1 モードを[ALM]にして(14 ページ)、  
りゅうずの位置を0にする

時針/分針/24時間針がアラームの設定時刻を表示し、秒針がアラーム設定を表示します。





<b>ALM ON</b>	設定時刻になるとアラームが鳴ります。
<b>ALM OFF</b>	アラームは鳴りません。

- ② ボタンを押すごとに、アラーム設定が切り替わります。

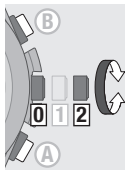
## 2 モードを[TME]にし、りゅうずの位置を0にして終了する 通常表示に戻ります。

### アラーム音を確認する

手順1のとき、① ボタンを押すと、アラーム音が5秒間鳴ります。もう一度ボタンを押すと、すぐに鳴り止みます。

## ■ アラームの設定を変更する

- アラーム時刻の設定は、24時間制です。

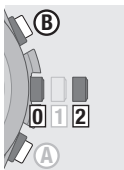


### 1 モードを[ALM]にして(14 ページ)、 りゅうずの位置を2にする

時針/分針/24時間針がアラームの設定時刻を表示し、秒針がアラーム設定を表示します。

### 2 りゅうずを回して、アラームの時刻を設定する

- 午前/午後は、24時間針で確認します。
- りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。



### 3 ②ボタンを押して、アラーム設定を「ALM ON」にする

- ・ ②ボタンを押すごとに、アラーム設定が切り替わります。

### 4 モードを[TME]にし、りゅうずの位置を0にして終了する

通常が表示に戻ります。

#### 設定時刻になると

設定時刻になると、アラームが15秒間鳴ります。

- ・ モードが[TME][SET]でりゅうずの位置が0のとき以外は、アラームは鳴りません。

#### アラーム音を止めるときは

いずれかのボタンを押します。

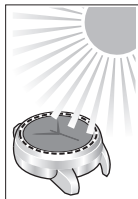
## 充電について

この時計は、文字板の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを、内蔵の二次電池に蓄えることができます。

充電は、文字板に直射日光や蛍光灯などの光が当たると行われます。

次のような充電を心がけると、時計を快適にご使用いただけます。

- 時計を使用しないときでも、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置く
- 月に一度は時計の文字板を太陽に向けて、5～6時間直射日光に当てる
- 光の当たらない場所で長期保管をしない



**注意**

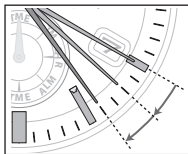
- 故障の原因となりますので高温下(約60°C以上)での充電はおやめください。
  - 衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。
- 充電完了後、時計は自動で充電を停止します(過充電防止機能)。充電のしすぎによって、時計や二次電池の性能が損なわれることはありません。

## ▶ 充電について

### ■ 充電不足になると(充電警告機能)

充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒ごとに動きます(2秒運針)。すみやかに文字板に光を当てて充電してください。

- 充電すると、秒針が1秒ごとに動くようになります(通常運針)。
- 2秒運針が3日間以上続くと、充電不足で時計が停止します。



### 充電警告中(2秒運針中)は

時刻・日は正しく表示されます。

- 他のモードでも[TME]と同じ表示になり、使用できません。
- 機能針は、充電量レベル「0」を表示します。

## ■環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間(約)		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外(晴天)	<b>100,000</b>	3分	2時間	35時間
屋外(曇天)	<b>10,000</b>	11分	3.5時間	65時間
30W蛍光灯の20cm下	<b>3,000</b>	40分	7.5時間	—
屋内照明	<b>500</b>	4時間	50時間	—

- 直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが足りません。

## ■ パワーセーブ機能

暗所などで時計が発電できない状態が続いたとき、節電のために秒針を自動で停止させる機能です。

- パワーセーブ中も、時計は正しく動作しています。
- パワーセーブ中も、アラーム機能は働きます。
- 次の場合パワーセーブ機能は働きません。
  - りゅうずの位置が[1]や[2]のとき
  - モードが[CHR][ALM]のとき
  - 秒針が2秒ごとに動いている(充電警告中)

### パワーセーブを解除するには

時計を操作するか、文字板に光が当たって発電が始まると、パワーセーブは解除され、通常が表示に戻ります。

## 電波受信について

この時計は、次の3つの方法で電波を受信します。

受信方法	概要
自動受信	毎日、夜間に自動で受信します。
強制受信	必要なときに、手動で電波受信を始めることができます。 (29 ページ)
復活自動受信	充電不足により時計が止まった場合に、十分に充電されると、自動で開始されます。

- 電波を正しく受信しても、受信環境や時計の内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じることがあります。
- 標準電波が受信できない場合でも、時計は月差±15秒以内の精度で動き続けます。

## 電波を受信するときは

標準電波を受信するときは時計を腕から外し、窓際など電波を受信しやすい安定した場所に置きます。

- 窓ガラスに網が入っている場合は、窓を開けるか場所を変えてください。
- 電波受信用のアンテナは、この時計の7時位置に組み込まれています。時計の7時位置を電波送信所の方向に向けて置いてください。
- 電波の受信中は時計を動かさないでください。
- 秒針が2秒ごとに動いているとき(充電警告中)は、電波受信は行われません。先に、充電を行ってください。

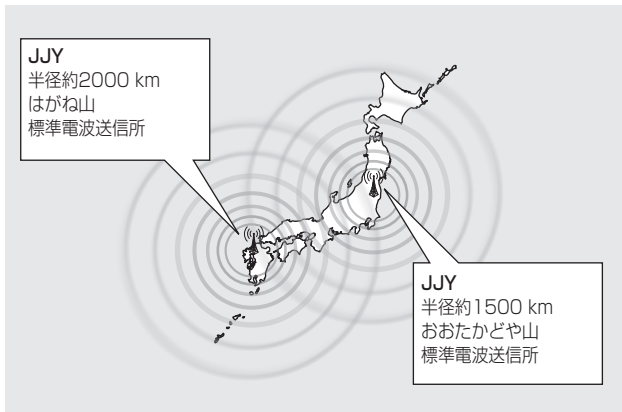


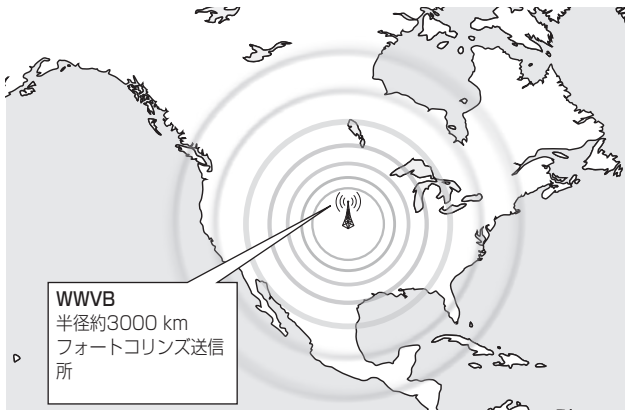
## 標準電波について

この時計は、世界4地域5局の標準電波送信所から送信される時刻情報を受信し、時刻と日を自動修正する電波時計です。受信できる送信所は次のとおりです。

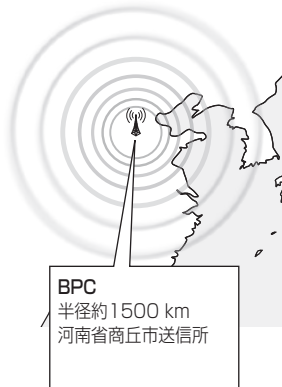
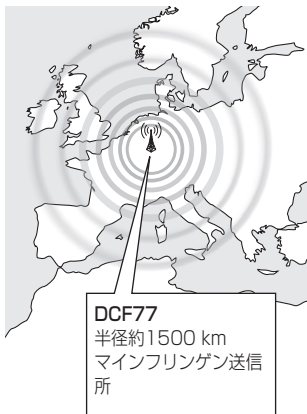
送信所		標準電波
日本局	おおたかどや山標準電波送信所(福島局)	JJY
	はがね山標準電波送信所(九州局)	
アメリカ局	コロラド州デンバー フォートコリンズ送信所	WWVB
ドイツ局	フランクフルト南東 マインフリンゲン送信所	DCF77
中国局	河南省商丘市送信所	BPC

- 各送信所の位置と受信可能範囲の目安は、次ページ以降をご覧ください。





**WWVB**  
半径約3000 km  
フォートコリンス送信所



## ■ 受信が困難な場所

次のような電波ノイズが発生しやすい場所や、標準電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

- ・ 極端に高温や低温の場所



- ・ 高圧線(電線)、電車の架線、飛行場(通信施設)の近く



- ・ 乗り物の中



- ・ 鉄筋コンクリートの建物の中、高層ビルや山などの谷間、地下



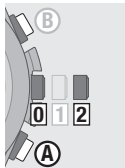
- ・ 電化製品やOA機器の近く



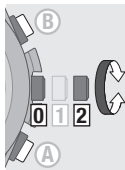
- ・ 通信中の携帯電話やスマートフォンの近く



## 時刻・カレンダーを手動で合わせる



- 1 モードを[SET]にして(14 ページ)、  
りゅうずの位置を[2]にする  
秒針が0秒を指して停止します。
- 2 ①ボタンを押す  
時針/分針が少し動きます。
- 3 ①ボタンをくり返し押して、合わせる針/表示を選ぶ
  - ①ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。  
時/分/24時間 → 日 → 年/月 → 曜 → (始めに戻る)
  - 針/表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。



#### 4 りゅうずを回して、針/表示を合わせる

- 時針/分針/24時間針は連動します。
- 午前/午後は、24時間針で確認します。
- 年と月は、秒針で表示されます。**58** ページを参考に設定します。
- 日表示は、機能針が5回転すると切り替わります。
- 時刻と日表示は、りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

#### 5 手順3と4をくり返す

#### 6 時報に合わせて、りゅうずの位置を0にする

#### 7 モードを[TME]にし、りゅうずの位置を0にして終了する

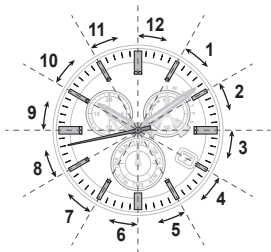
▶ 時刻・カレンダーを手動で合わせる

## 年と月の表示について

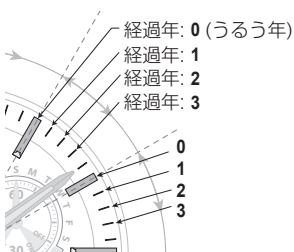
年と月は、秒針の位置で設定します。

「月」は、下図の12の矢印の範囲で表示されます。

各数字が月に対応します。



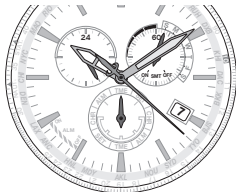
「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りの位置で表示されます。



年	経過年	秒針の位置
- 2020 2024 2028 2032	0 (うるう年)	月の表示範囲の最初の目盛り
- 2021 2025 2029 2033	1	1目盛り目
- 2022 2026 2030 2034	2	2目盛り目
2019 2023 2027 2031 2035	3	3目盛り目

- うるう年については、弊社ホームページで年表をご覧ください。

<https://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html>



例:

**2018年4月に設定するときの秒針の位置**

2018年は、表より経過年が「2」なので、秒針は、4月の範囲の2目盛り目を指すことがわかります。

## 困ったときは

### ■基準位置を確認・修正する

電波を適切に受信しても時刻・カレンダーが正しく表示されないなどの場合、基準位置が正しいかどうか確認します。

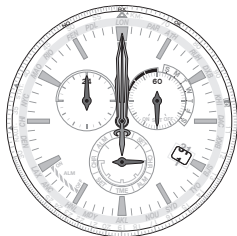
- ・各表示が正しい基準位置からずれていると、電波を受信しても、時刻・カレンダーが正しく表示されません。

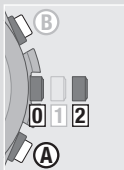
### 基準位置とは

時刻・カレンダーを表示するために基準としている、各針/表示の位置のことです。

- ・時針/分針/秒針の位置：0時00分0秒
- ・24時間針：「24」
- ・日表示の位置：「31」と「1」の間
- ・機能針の位置：「30」(真下)

### 正しい基準位置



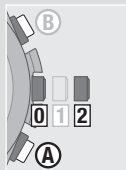


**1** モードを[CHR]にして(14 ページ)、  
りゅうずの位置を[2]にする  
針/表示が、現在の基準位置に移動し停止します。

**2** 前ページの図を参考に、基準位置を確認する

正しい	りゅうずの位置を[0]にして、終了します。その後モードを[TME]にします。
ずれている	手順3に進み、基準位置を修正します。

**3** ①ボタンを押す  
機能針が少し動きます。

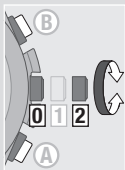


#### 4 ①ボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ

- ①ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。

機能針/日表示 → 時針/分針/24時間針 →  
秒針 → (始めに戻る)

- 針/表示が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
- 時針/分針/秒針/24時間針が、修正対象のときは、機能針は「60」(真上)を指します。



## 5 りゅうずを回して、針/表示を修正する

- 時針/分針/24時間針は連動します。
- 日表示は、機能針が5回転すると切り替わります。
- りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

## 6 手順4と5をくり返す

## 7 りゅうずの位置を0にする

## 8 モードを[TME]にして、終了する



## 時計の状態と対処方法

時計の状態	対処方法	詳細ページ
<b>電波を受信できない</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手動で電波受信(強制受信)ができない</li> <li>• 電波の自動受信ができていない</li> </ul>	時計をモード[TME]にして、りゅうずの位置を0にする。	<b>14、29</b>
	充電量を確認する。秒針が2秒ごとに動いているときは、受信できません。	<b>16</b>
	ワールドタイムの地域設定を確認する。	<b>24</b>
	受信可能地域であるかどうか確認する。	<b>51</b>
	受信環境を確認する。	<b>55</b>
	時計を適切な場所において、受信が終わるまで、動かさない。	<b>50</b>
「シチズンお客様時計相談室」にお問い合わせください。	<b>87</b>	

時計の状態	対処方法	詳細ページ
<b>時刻・カレンダーがおかしい</b>		
受信に成功しているのに、表示がおかしい	時計をモード[TME]にして、りゅうずの位置を [0] にする。	<b>14</b>
	ワールドタイムの地域設定を確認する。	<b>24</b>
	サマータイム設定を確認する。	<b>32</b>
	基準位置を確認・修正する。	<b>60</b>
	手動で時刻・カレンダーを合わせる。	<b>56</b>
サマータイム設定が自動で切り替わらない	サマータイム設定を「SMT ON」にする。	<b>32</b>
曜が表示されない	時計をモード[TME]にして、りゅうずの位置を [0] にする。	<b>14</b>
	充電量を確認する。秒針が2秒ごとに動いているときは、表示されません。	<b>16</b>

▶ 困ったときは

時計の状態	対処方法	詳細ページ
<b>針の動きがおかしい</b>		
時計をケースなどから出した途端に針が高速で回りだす	パワーセーブが解除されています。現在の時刻が表示されるまで待ちます。	-
操作中に、意図しない動きをする	時計のモードを確認する。	<b>14</b>
秒針が動かない	時計のモードを確認する。	<b>14</b>
	充電量を確認する。	<b>16</b>
秒針が2秒ごとに動く	充電量が不足しています。充電が必要です。	<b>44</b>
充電量が表示されない	時計をモード[TME]にし、りゅうずの位置を①にして、Ⓐボタンを押す。	<b>16</b>

時計の状態	対処方法	詳細ページ
<b>針の動きがおかしい(つづき)</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>ワールドタイムの設定が表示されない</li> </ul>	時計をモード[TME]にし、りゅうずの位置を  にして、  ボタンを押す。	<b>22</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>サマータイム設定が表示されない</li> </ul>	充電量を確認する。秒針が2秒ごとに動いているときは、表示されません。	<b>16</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>アラームが鳴らない</li> <li>アラームが意図した通りに鳴らない</li> </ul>	時刻・カレンダーが正しいか確認する。	<b>-</b>
	充電量を確認する。秒針が2秒ごとに動いているときは、アラームは鳴りません。	<b>16</b>
	アラーム設定、設定時刻を確認する。	<b>40</b>
	時計のモードを確認する。	<b>14、40</b>
	ワールドタイムの地域設定を確認する。	<b>24</b>
	サマータイム設定を確認する。	<b>32</b>

## ■ オールリセットする

時計の動作が不安定なときなど、すべての設定をリセットすることができます。充電量が少ないときは、先に充電を行ってください。

オールリセットした後は、必ず次の操作を行ってください。

### 1 基準位置を合わせる

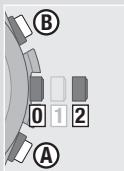
オールリセットをすると、時計は基準位置合わせの状態になります。

61 ページの手順3以降をご覧ください。

### 2 ワールドタイムを設定する(24 ページ)

### 3 時刻・カレンダー合わせをする

手動(56 ページ)または、電波を受信して(29 ページ)時刻・カレンダー合わせをします。



- 1 モードを[CHR]にして(14 ページ)、  
りゅうずの位置を[2]にする  
各針/表示が現在の基準位置に動きます。  
・針と表示の動きが止まったら、次に進みます。

- 2 (A)ボタンと(B)ボタンを同時に押す  
ボタンから手を離すと、アラームが鳴り、オールリセットが行われます。

#### オールリセット後の各設定

時刻/カレンダー	うるう年の1月1日日曜日午前0時0分
ワールドタイム	LON
サマータイム	全地域でSMT OFF
アラーム設定	ALM OFF
アラーム時刻	午前0時0分
受信結果表示	NO

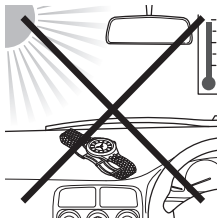
## エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

### ⚠ 注意 充電上の注意

- ・ 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温(約60℃以上)での充電は避けてください。
- 例)
- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電。白熱灯で充電するときは、必ず50 cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
  - 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



## 《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。  
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなります。

### **警告** 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

### **警告** 指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んででも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

## 防水性能について

### ⚠ 警告 防水性能について

- ・時計の文字板もしくは裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1 barは約1気圧に相当します)
- ・WATER RESIST(ANT)×× barはW.R.×× barと表示している場合があります。
- ・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示	仕様
	文字板または裏ぶた	
非防水時計	—	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	W. R. 5 bar	5気圧防水
	W. R. 10/20 bar	10気圧防水、20気圧防水

- 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキューバダイビング)やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

## 使用例



水がかかる程度  
の使用。(洗顔、  
雨など)



水仕事や一般  
水泳に使用。



スキューバダイ  
ビング、マリンス  
ポーツに使用。



空気ポンベ使用  
のスキューバ潜  
水に使用。



ヘリウムガス  
を使用する飽  
和潜水に使用。



濡れたままの  
りゅうずやボ  
タンの操作。

×

×

×

×

×

×

○

×

×

×

×

×

○

○

×

×

×

×

○

○

○

×

×

×

## お取り扱いにあたって

### **注意** 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

## ⚠ 注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。  
時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

## **注意** 携帯時の注意

### <バンドについて>

- 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ)また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質(化粧品など)が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

- 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
  - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
  - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。  
バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

#### <温度について>

- 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

#### <磁気について>

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。  
磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー一部、電磁調理器などに近づけないでください。

## ▶ お取り扱いにあたって

---

### <ショックについて>

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

### <静電気について>

- ・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

### <化学薬品・ガス・水銀について>

- ・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含むもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

### <保護シールについて>

- ・時計のガラス部分や金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

## ⚠ 注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

## 時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

### 夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

## 保証とアフターサービスについて

### <保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

### <修理用部品の保有期間について>

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

### <修理可能期間について>

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

### <ご購入・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

### <定期点検(有償)について>

#### • 防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2~3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキンなどの交換をご依頼ください。

#### • 分解掃除(内装修理)について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

### <修理について>

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

### <その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

## 製品仕様

機種	E660	型式	アナログソーラーパワーウォッチ
時間精度 (非受信時)	平均月差± 15秒 常温(+5℃~+35℃)携帯時		
作動温度範囲	-10℃~+60℃		
表示機能	<ul style="list-style-type: none"><li>• 時刻: 時・分・秒・24時間</li><li>• カレンダー: 日・曜</li></ul>		
持続時間	<ul style="list-style-type: none"><li>• 充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで<ul style="list-style-type: none"><li>- パワーセーブ機能が1日4時間作動する場合(通常使用時): 約10ヶ月</li><li>- パワーセーブ機能が1日中作動する場合: 約3年</li></ul></li><li>• 充電警告が始まってから時計が停止するまで: 約3日</li></ul>		
使用電池	二次電池(ボタン型リチウム電池) 1個		

付加機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 光発電機能</li> <li>• 過充電防止機能</li> <li>• 充電警告機能(2秒運針)</li> <li>• 充電量表示機能(4段階)</li> <li>• パワーセーブ機能 (節電機能)</li> <li>• ワールドタイム機能 (24地域、1時間単位)</li> <li>• 電波受信機能(自動受信/ 強制受信/復活自動受信) 対応局: 日本局(東/西)/ アメリカ局/ドイツ局/中国局</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 受信中表示機能(RX)</li> <li>• 受信結果表示機能(OK/NO)</li> <li>• サマータイム機能(自動<b>SMT ON/OFF</b>、手動<b>SMT OFF</b>)</li> <li>• アラーム機能(<b>ALM ON/OFF</b>)</li> <li>• アラームモニター機能</li> <li>• クロノグラフ機能 (60分計、1秒単位)</li> <li>• パーペチュアルカレンダー (2100年2月28日まで)</li> </ul>
------	--	--

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

## お問い合わせ窓口

- ・スマートフォン・携帯電話からもご利用いただけます。
- ・いただく情報の中には、お客様の個人情報が含まれる場合がございます。これはお問い合わせへの回答のために利用いたします。また、その目的の範囲内で、弊社の委託する会社において利用する場合がございますことをご了承ください。
- ・サービス向上とお問い合わせ内容の正確を期すため、通話の内容を録音させていただいております。

### 修理に関するご相談は

シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係

TEL: **0120-977-867**

受付時間 9:30～17:30（祝日を除く月～金）

〒121-8508 東京都足立区竹の塚5-7-3 竹の塚Joyぷらざ4F

## その他のご相談は

シチズンお客様時計相談室

TEL: **0120-78-4807**

受付時間 9:30～17:30（祝日を除く月～金）

弊社ホームページの「サポート」内で、各種情報を配信しております。

URL: **<https://citizen.jp/>**